

平成30年度 授業改善推進プラン

府中市立矢崎小学校

6年生

学年の児童の実態と課題（学習への取り組み、家庭学習、学習準備状況、など）

日々の学習に意欲的に取り組むことのできている児童が多い。積極的に発言をしたり、ノートをわかりやすくまとめたり、自分に合った表現方法を見つけている児童もいる。
家庭学習では、出された課題に真面目に取り組むことができている。自主学習においては、今の自分に必要な学習を把握し自分で考えて学習に取り組む児童がいる一方で、自分の課題を自分で見つけ出せていない児童もいる。

各教科

	身に付けさせたい力(伸ばしたい力)	児童の課題を解決していくための工夫	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す力 ○目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて文章を書く力 ○内容や要旨を捉えながら読む力 ○新出漢字を正しく使う力 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の会のスピーチで、人前で話す機会を設ける。自分の考えをまとめる時間を設定し、頭を整理した状態で話し合い活動や発表ができるようにする。 ○スモールステップとして、文章全体を区切りながらまとめる時間を確保する。友達と読み合う時間を設け、文章を推敲できるようにする。 ○全体で文章で使われている表現に注目し、筆者や作者の意図を考える時間を設ける。 ○漢字のミニテストを行い、新出漢字の定着を図る。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に関心をもち、進んで調べようとする力 ○資料を効果的に活用し、調べたことから自分の考えをもつ力 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の始めに学習問題につながる資料を提示し、子供たちから疑問や予想を出させ、調べる上での動機付けを行う。 ○学習問題を意識させ、何を調べるのかという観点を明確に示す。また、まとめを行う際には、資料から得た情報をもとに、学習問題に立ち返って考えを書くように指導する。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○文章問題の要点を捉えて、課題をつかみ、根拠をもって、正しく立式する力 ○小数や分数の計算を正確に行い、必要に応じて使い分ける力 ○既習事項を生かして、自力解決し、筋道を立てて考え、論理的に説明する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活場面での活用を意識させ、立式では4マス関係表や数直線図等を有効に活用する。 ○実際の生活場面を想定し、小数と分数の使い分けを考えるさせると共に、基本的な計算練習を繰り返す行う。 ○自分の考え方を図や式だけでなく、理由を分かりやすく言葉で書かせ、それを友達に説明する活動を取り入れる。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○課題を発見し、課題を解決するための方法を考え、実行できる力 ○実験結果から自然事象に対する考察を行える力 ○正しく観察し、記録する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の導入の際に、既習事項や身近な自然事象から、確かめたいことや疑問に思うことを共有する。また、課題に対し予想と予想に対する根拠を書かせ、実験・観察を行う。 ○考察する際に課題を振り返り、何を調べていたかを確認しながら考察する。 ○実験や観察の手順を画像や映像で確認しながら行う。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決するために、主体的・協働的に取り組む力 ○各運動領域の特性に応じた技能を身に付ける力 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人やチームごとにそれぞれの課題を見つけさせ、解決するためのめあてが立つように指導する。振り返り際には、周りに広げるための価値付けや、次につながる助言を行う。 ○グループ学習や学習カードを工夫し、友達と積極的に関わることのできる場や環境を整える。 ○学習カードや掲示資料を工夫し、各運動領域で身に付けさせたい技能についての理解を深める。学習を進める中で、コツやポイントを紹介しあったり、技能を身に付けさせるための場を工夫したりする。 	

	身に付けさせたい力(伸ばしたい力)	児童の課題を解決していくための工夫	成果と課題(年度末)
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決のために必要な資料を見付け、活用できる力 ○相手意識・目的意識をもって調べ、調べたことを適切に発表する力 ○新たな課題を見付け、課題解決を通して、一つの事象に対して多面的に捉える力 ○問題の解決や探究活動に主体的、協同的に取り組む力 	<ul style="list-style-type: none"> ○インターネットから正しい情報を選択できるように、情報モラルについて学習する時間を設ける。 ○聞き手に合わせた発表内容や方法を検討する時間を設ける。タブレットやビックパットを有効的に活用していく。 ○他の児童がまとめた発表を聞き、多面的に物事を捉えるようにしていく。 ○主体的に取り組む場面と協同的に取り組む場面を設定するとともに、それぞれの場面で個々の役割を明確にし、その場に応じた力を付けられるように指導する。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を読む力 ○簡単な語句を書き表す力 ○外国と日本の言語や文化の違いに気付く力 	<ul style="list-style-type: none"> ○フォニックス読みに親しませるため、年間を通して音楽教材を活用する。 ○大文字・小文字や、音声で十分に慣れ親しんだ語句を書き写す活動を、毎時間取り入れる。 ○日本と外国を比較しながら共通点や相違点に気付くことができるように、授業で扱う題材を精選する。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う力 ○曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する力 ○楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏の良さを見いだす力 	<ul style="list-style-type: none"> ○主旋律とや副次的な旋律を正確に歌えるよう音取りを繰り返した上で、テンポをゆっくりにして全体のハーモニーを聴きながら歌ったり、グループに分かれて聴き合ったりし、声の重なりや全体の響きを意識できるようにする。 ○楽器の音色の響きに気を付けて演奏することを常に意識させながら、自分の思いや表現の工夫についての考えをもち、言葉や音楽で伝え合う場面を設定する。 ○楽曲を聴く際には、音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みについてキーワードとして示しておく。想像したことや感じ取ったことをワークシートにまとめ、発表する場を設けて楽曲の特徴や演奏の良さを共有する。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○自分にとっての表現に値する「もの」を、自分の意図をもって表現する力。 ○美術のみならず、芸術全般を味わったり、自分なりに読み取ったりして、自らの生き方に結び付けようとする意識。 ○自己の内面を深く見つめることと同時に、社会の中に自分を発信する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の気持ちを実感を持って表していける題材を設定し、自分の力を精一杯駆使し、作品に結実させていく。 ○鑑賞教室(府中美術館、心の劇場)等広く味わう機会を生かし、成長するための憧れる対象として意識させる指導を行う。 ○自分の作品を身に付けたり、作品に意味をもった題名を付けたりするなど、自らの言葉・文章等で制作意図を伝える場面を設ける。 	
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭生活に関心をもち、家族の一員として協力して家事を担っていく態度が身に付き、日々、生活を改善していこうとする力 ○栄養素について理解し、食事の栄養バランスを考え、自分の食生活に活かそうと創意工夫し、一食分の献立をたて調理する力 ○すでに学んだ調理や裁縫の知識・技能を、教科書や資料をふり返りながら着実に自分のものとして身に付けていく力 ○社会は人々の協力で成り立っていることを理解し、自分もその一員として責任を果たしより良い社会を目指して協力していこうとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で学習したことを家庭でも実践できるように、課題を設定する。また、家事の大変さや家事を担うことの大切さに気付かせるため、保護者からのコメント欄を設ける。 ○実習で行った調理に、工夫やアレンジを加えて取り組ませる課題を示す。家庭で実習した成果を紹介し合い、食生活への関心を高める。 ○学習したことを今後も役立てていく方法として、教科書やノートを読み返し、実習や家庭学習での実践を重ねる。 ○自分の役割を意識するため、家庭や地域での活動を振り返り、報告し合う機会を設ける。 	

学年の児童の成果と課題(年度末)

--